

神戸版レッドデータ 2010 の改定について

1. 改定の趣旨

平成22年8月に策定した「神戸版レッドデータ 2010」策定後の平成23年度より実施している「レッドデータフォローアップ調査」、「市民参加型生物多様性モニタリングプロジェクト」による情報提供等による最新の情報を踏まえ、神戸版レッドデータの改定を行う。

2. 審議等の状況

(1) レッドデータフォローアップ調査

「神戸版レッドデータ 2010」のデータ更新のため、専門家による生物調査を実施している。

① ルートセンサス調査

あらかじめ設定したルート歩き、ルート上で確認された動植物を記録したもの

○ (希少種情報のため非公開) ルート

○ (希少種情報のため非公開) ルート

② ホットスポット調査

生物多様性が高い、あるいは希少種が集中していると思われるが近年精緻な生物調査が行われていない場所を選定して調査したもの

○ (希少種情報のため非公開)

○ (希少種情報のため非公開)

③ 調査結果

各調査地における確認種数（動物）

調査箇所	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	甲殻類	貝類	合計
(希少種情報のため非公開)									

各調査地における確認種数（植物）

調査箇所	シダ植物	種子植物				合計
		裸子植物	被子植物		単子葉植物	
			双子葉植物			
			離弁花類	合弁花類		
(希少種情報のため非公開)						

(2) 推進委員会の開催

平成 27 年 2 月 16 日に「第 1 回レッドデータ改訂推進委員会」、平成 27 年 3 月 16 日に「第 2 回レッドデータ改訂推進委員会」を開催し、基本的な考え方等について整理を行った。

(主な内容)

- 無脊椎動物の中から、貝類と甲殻類（エビ・カニ類のみ）を追加する。
- D ランクについては、減少が著しいこと以外に優れた環境の指標、地元で愛されている群落などの別の観点から選定されたもので、市民に分かりにくいことから廃止する。
- レッドリスト・ブラックリスト選定候補種についての検討。

(3) 専門家からの意見聴取

植物のレッドデータ選定については、特に専門性を有することから、平成 27 年 5 月 27 日(木)、専門家 3 名を招いて、意見聴取を行った。

3. 今後の予定

レッドデータ改訂にあたっては、今後、推進委員会を 3 回開催し、レッドリスト（希少種）とともに、ブラックリスト（生物多様性の保全上特に注意すべき外来生物等）の選定を国や兵庫県における選定状況等を踏まえて行う。

【今後のスケジュール】

項 目	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
推進委員会の開催	○ 第 3 回			○ 第 4 回				○ 第 5 回		
パブリックコメント							○ パブコメ			○ 公表

確認種のうち希少種（動物）

分類	目名	科名	種名	貴重性			確認場所			
				神戸市	兵庫県	環境省	布引再度	押部谷	明石川	野瀬
哺乳類	(希少種情報のため非公開)									
鳥類										
爬虫類										
両生類										
魚類										
昆虫類										
合計	19目	25科	32種	24種	17種	9種	12種	13種	9種	7種

(希少種情報のため非公開)は(希少種情報のため非公開)の貴重性、(希少種情報のため非公開)は(希少種情報のため非公開)の貴重性を示す。

- ※ 種保存の*は「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」における国内希少野生動植物種
- ※ 神戸市及び兵庫県のAは環境省の「絶滅危惧ⅠA類(CR:ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種)及びⅠB類(EN:ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種)」に相当
- ※ 神戸市及び兵庫県のBは環境省の「絶滅危惧Ⅱ類(VU:絶滅の危険が増大している種)」に相当
- ※ 神戸市及び兵庫県のCは環境省の「準絶滅危惧(NT:存続基盤が脆弱な種)」に相当
- ※ 調:要調査種。環境省の「情報不足(DD:評価するだけの情報が不足)」に相当
- ※ 注:要注目種

確認種のうち希少種（植物）

分類	科名	種名	貴重性			確認場所			
			神戸市	兵庫県	環境省	布引再度	押部谷	明石川	野瀬
シダ植物 種子植物 離弁花類	(希少種情報のため非公開)								
合弁花類									
単子葉類									
合計	16科	22種	20種	11種	14種	12種	8種	1種	4種

※ 希少性等は動物と同様